

授業科目名 <英訳>		心理臨床学コロキウム I Colloquium on Clinical Psychology I			担当者所属・ 職名・氏名		こころの未来研究センター 教授 河合 俊雄 人文科学研究所 准教授 立木 康介 こころの未来研究センター 特定准教授 内田 由紀子 学生総合支援センター 教授 杉原 保史 学生総合支援センター 准教授 中川 純子 学生総合支援センター 准教授 村上 嘉津子				
配当 学年	院	単位数	2	開講年度・ 開講期	2015・ 前期	曜時間	水3	授業 形態	課題演習	使用 言語	日本語
共用科目											
【授業の概要・目的】											
心理臨床における研究とはどのようなものであるか、また「臨床の知」とはなにかを探求する。各自の修士論文および博士論文へ至る研究を、相互に検討しあう。											
【到達目標】											
当該専門領域において学術論文を執筆できるような知識・スキルを身につけること。											
【授業計画と内容】											
年間の授業の詳細については、受講者と本授業担当系の院生、および教員とで決定するが、おおむね以下ようになる。 毎回の発表担当者を数名決定し、修士課程1回生は各自の卒業論文について、修士課程2回生は修士論文の計画についてプレゼンテーションをおこない、参加者も交えてディスカッションする。博士課程1回生の学生には、議論をリードし指導的な役割をとることが期待され、教えられる存在から教え導く存在への成長が期待される。 各自の研究テーマの関連性に従い、グループ分けをおこなって、テーマを共通に探究することもありうる。											
【履修要件】											
積極的な出席と発表を可能にするようなモチベーション。											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
発表、議論への積極的なかわりなどを総合的に判断する。											
【教科書】											
適宜指示する。											
【参考書等】											
(参考書) 適宜指示する。											
【授業外学習(予習・復習)等】											
発表のため十分に準備をすること。また、他の受講者が発表したトピックについても、必要があれば、知見を深めること。											
(その他(オフィスアワー等))											
特になし。 オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。											